

令和7年6月11日

# 総務文教委員会

阿久根市議会



1 会議名 総務文教委員会

2 日時

- (1) 期日 令和7年6月11日（水）
- (2) 開会 午後1時9分
- (3) 散会 午後1時41分

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

川 原 慎 一	委員長
竹之内 和 満	副委員長
大 田 基 次	委員
大 野 雅 子	委員
白 石 純 一	委員
木 下 孝 行	委員
牟 田 学	委員

5 欠席委員

なし

6 職務のために出席した議会事務局職員

上 脇 重 樹 次長兼議事係長

7 会議に付した事件

- (1) 陳情第4号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情
- (2) 陳情第5号 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択を求める陳情
- (3) 所管事務調査について

8 議事の経過概要 別紙のとおり



## 審査の経過概要

### 川原慎一委員長

ただいまから総務文教委員会を開会します。

本委員会に付託された案件は、陳情第4号、ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情及び陳情第5号、「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択を求める陳情の2件です。

この2件の審査は、会期日程のとおり6月20日と23日に行う予定ですが、この予定日に開催する委員会において審査方法を協議し、参考人招致を決定した場合、参考人との日程調整の期間が取れないことから、会期日程のとおり審査を行うことが難しくなると思われます。

したがって、あらかじめ、参考人招致の可否などについて協議していただき、必要と決定された場合、会期内にその審査ができるように調整しようと考えています。

よって、本日は会期日程で予定しておりませんが、委員会を円滑に進行するために、これらについて協議していただきます。

### ◎ 陳情第4号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情

#### 川原慎一委員長

まず、陳情第4号を議題とします。

この陳情の審査において、陳情者に対し参考人として出席を求める必要があるかどうか、皆様の御意見をお伺いします。

御意見ございますか。

#### 白石純一委員

例年、ほぼ似たようなものが出てきてるんですけども、この時期にですね。ただ今年は、一部異なっております。下記の2番、3番もそうかな、少なくとも2番は去年、一昨年はなかったのではないかと思いますので、新たな項目ですので、提出者の参考人招致を求めます。

#### 木下孝行委員

今、参考人を呼ぶべきという意見がございましたけど、今、白石委員が言ったみたいに、2番、3番が過去の陳情とはちょっと異なる事項になっているということでありまして、参考人を呼ばなくても、意味は十分我々で理解できると思います。

そういった意味では、参考人は呼ばずに、所管課の意見等も聞いて判断ができるのではないかと思います。

#### 竹之内和満委員

毎年出てる陳情書なんですけど、先ほどほかの委員が言われたとおり、2番、3番が変わっております。特に2番に関してですね、複式学級を解消することと、いままでなかったのが入っております。

ただこれに関しては、この陳情に関しては、自分は呼ぶ必要はないかなと思います。

複式学級を解消すること、ほとんど教員の立場だから、文を見てればなので、別に聞か

なくてもいいのかなと。おそらく、現役の先生だと思われるので、呼ぶ必要はないのかなと思います。

#### 川原慎一委員長

ほかに御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

陳情者、参考人として出席を求めることについて、賛否両方の御意見がございます。

この際、暫時休憩をします。

(休憩 午後 1 時13分～午後 1 時31分)

#### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

陳情者を参考人として出席を求めることについて、挙手より決定をします。

出席を求めることについて、賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

ありがとうございます。

賛否同数ですので、委員長において決定します。

陳情者を参考人として、出席を求めないことにいたします。

続きまして、この陳情の審査において、所管課に対し、出席を求め、質疑を行う必要があるかどうか、皆様の御意見をお伺いします。

御意見はありませんか。

#### 木下孝行委員

所管課には呼んで、いろんなお話もしてみたいと思います。

所管課の意見を聞く場をつくってもらいたいと思います。

#### 白石純一委員

この内容で分かるというのであれば、所管課を呼ぶ必要はないと思います。

#### 竹之内和満委員

自分、まったく一緒です。

カリキュラムオーバーロードとは違って、なかなか教育委員会で言えないようなのが沢山出てますので、説明がしづらいのかなと思います。

呼ぶ必要ないと思います。

#### 大野雅子委員

所管課も言いにくいところがあるのかもしれないですけども、所管課の考えも聞いてみたいと思います。説明も聞きたいと思います。

#### 大田基次委員

言葉でっていうことで、所管課の方来ていただいて、これよりもまた深いところも聞けるでしょうから、呼んでいただければ、私はありがたいなと思います。

#### 川原慎一委員長

所管課の出席を求めることについて、賛否両方の御意見がございます。

この際、暫時休憩をいたします。

(休憩 午後 1 時34分～午後 1 時35分)

#### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

所管課に出席を求めることについて、挙手により決定いたします。

出席を求めることについて、賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

ありがとうございます。

挙手多数と認め、所管課に出席を求めることに決定しました。

所管課には、次の委員会を開催したときに出席を求めます。

#### ◎ 陳情第5号 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択を求める陳情

#### 川原慎一委員長

それでは、陳情第5号を議題とします。

この陳情の審査において、陳情者に対し参考人として出席を求める必要があるかどうか、皆様の御意見をお伺いいたします。

#### 白石純一委員

初めて出てくる陳情なので、陳情者の参考人招致を求めます。

#### 大野雅子委員

私も同じです。

初めての案件なので、ぜひ本人の言葉で聞きたいと思います。

#### 竹之内和満委員

カリキュラムオーバーロードに関してはですね、色々と聞きたいことが沢山あったりして、所管課もですけど、呼んで喋ってもらった方が分かりやすく、今どういう状況なのかっていうのを知りたいと思います。呼んだ方がいいと思います。

#### 木下孝行委員

この陳情内容で、趣旨は十分私は理解できると思うんですけども、2の中でこのカリキュラムオーバーロードっていうこの名称での陳情が始めということで、内容がもっと聞きたいことがあるっていうのであれば、私も参考人を呼んでもいいとは思っております。

ただ内容的には、子供たちの豊かな学びを作ってやるということ、今の課題でありますけども、それと教職員の処遇改善という大きな2つが内容、趣旨だろうと思いますが、皆さんが呼びたいのであれば呼んでいいと思います。

#### 川原慎一委員長

それでは、陳情人を参考人として出席を求める必要があるとの御意見がありましたので、出席を求めることにしたいと思いますが、これに御異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

参考人に出席を求めての委員会の日時については、参考人と調整しますので詳細は委員長に御一任願います。

調整でき次第、皆様にお知らせします。

続きまして、この陳情の審査において、所管課に対し出席を求め、質疑を行う必要があ

るかどうか、皆様の御意見をお伺いします。

#### 竹之内和満委員

先ほどもちょっと言ったんですが、やっぱ所管課からもこれに対して聞きたいと思いますので、ぜひ呼んでほしいと思います。

#### 川原慎一委員長

ほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

所管課に出席を求める必要があると御意見がございましたので、出席を求めることとしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

所管課には、陳情者に参考人として出席していただいた後に、出席を求めたいと思いますので、開催の日時は委員長に御一任願います。

### ◎ 所管事務調査について

#### 川原慎一委員長

以上で予定した事項は全て協議をいただきましたが、最後に所管事務調査について、お願いします。

今期定例会中の委員会において、陳情審査を終えた後、所管事務調査の協議を行っていただいて、調査事項を決定し、最終本会議で、閉会中の継続調査として決定していただきたいと考えております。

そこで、委員の皆さんには、そこで協議できるように調査されたい事項を考えておいてくださるようお願いいたします。

なお、委員長としては、委員会の任期は令和9年5月までですが、令和9年第1回定例会の本会議で、調査終了の報告をしなければならないことを考慮しますと、実質的な調査は令和8年の第4回定例会までに終了させたいと考えております。

そうすると調査できる期間は実質的には1年半しかございません。

また、視察の旅費に使うことができる予算も限りがございますし、視察日数が増えれば増えるだけ、スケジュール調整も難しくなります。

そこで、この1年半の間にしっかりとした調査を行うために、同時進行する調査事項は、件数は2件がいいと考えております。

お含みおきをくださればと思います。

以上で、本日の総務文教委員会を散会します。

(散会 午後1時41分)

総務文教委員会委員長 川 原 慎 一